



Pattern No.01820  
K u u m a a ! !  
Size 80~150

Recherche



<http://www.recherche.ne.jp/>

オリジナルパターン・仕様書の著作権・販売権は Recherche が所有しております。  
いかなる理由であっても、オリジナルパターン・仕様書の無断転写・複写・流用及び転売はご遠慮ください。

Recherche 01820 K u u m a a !! 仕様書

布帛・カットソー共通(※カットソー専用身頃有り)  
パターンパーツ数 7

～付属品～

バイアステープ

～身頃につきまして～ **※重要**

このアイテムには2種類の身頃があります。

「カットソー用身頃」

カットソー専用のパーツで、縫い代は**カットソー用**になっています。

「布帛用身頃」

布帛・カットソーのどちらでも作成できます。

縫い代・縫製仕様は布帛用となっています。

※布帛用身頃にカットソーを使用する場合は、脇のロック時に8mm余分に縫い代を落とし、縫い代は後身頃側に倒します。

～その他～

オリジナルパターン・仕様書の著作権・販売権は Recherche が所有しています。

いかなる理由であっても、オリジナルパターン・仕様書の無断転用・複写・流用及び転売はご遠慮ください。

■ 用語

CF(センターフロント)……………前中心

CB(センターバック)……………後中心

SL(ショルダーライン)……………肩線

AH(アームホール)……………袖ぐり

SNP(ショルダーネックポイント)……………肩線の衿側

空ロック……………布端処理等に用いる、縫い合わせをしないロック

コバステッチ……………1～2mmの端ミシン

■ 裁断前に必ず地直しを行ってください。

■ 伸び止めテープ・接着芯貼りは省略している箇所があります。

■ わかりやすくする為、画像のサンプルは寸法や糸の色を変えてあります。全体のバランス等、実際のものとは異なりますのでご注意ください。

パターンには芯を貼る位置やステッチの中等の指示が書いてありますので、本仕様書と共に確認しながら作業を進めてください。

「裁断・接着芯」「ノッチ(切り仕付け)」は平行して作業します。

## 裁断

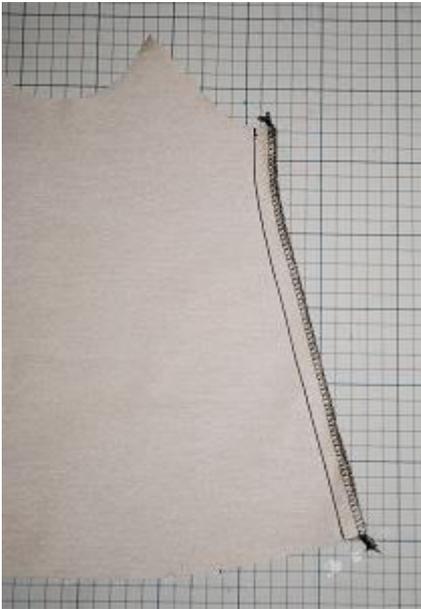
地の目線を確認し、生地の方角に注意しながら裁断します。

## ノッチ(合印)を入れます

- ※ ノッチ(合印)とは、縫い代に0.2~0.3 cm程度の切り込みを入れることです。
- ※ ノッチを深く入れすぎるとほつれやすくなりますので注意します。
- ※ 各所縫い合わせの時はこのノッチどうしを合わせます。

## 布帛用身頃

「前身頃」と「後身頃」の脇を、3 mm切り落としながら5 mm巾の空ロックをかけます。



「前身頃」と「後身頃」を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせ、縫い代をアイロンで割ります。

「身頃の裾」を、3 mm切り落としながら5 mm巾の空ロックをかけます。



「身頃の裾」の出来上がり線をアイロンを使って折り、表側からステッチをかけます。



カットソー用身頃・裾

「前身頃」と「後身頃」を中表に重ね、5 mm 切り落としながら 5 mm 巾のロックをかけます。



「カットソー用裾」の左脇どうしを中表に重ね、5 mm 切り落としながら 5 mm 巾のロックをかけます。



外表になるよう半分に折ります。



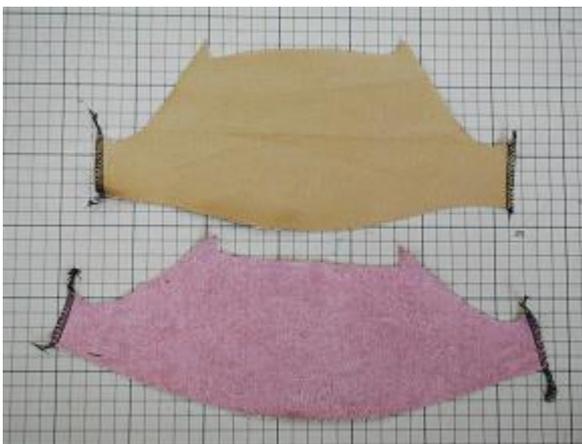
「身頃」と「裾」を中表に重ね、左脇・右脇・CF・CB をそれぞれ合わせ、クリップで留めます。



5 mm 切り落としながら 5 mm 巾のロックをかけます。



## 袖



「上袖の底」を、3 mm 切り落としながら 5 mm 巾の空ロックをかけます。

※「下袖の底」も同様にします。



「下袖」の上に「上袖」を乗せ(どちらも表が上を向くように)、「袖山」にギャザーを寄せます。



「上袖の底どうし」を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせ、縫い代をアイロンで割ります。

※下袖も同様にします。



「上袖の袖口」を、3 mm切り落としながら3 mm巾の空ロックをかけます。

※下袖も同様にします。





「上袖の袖口」の出来上がり線をアイロンを使って折り、  
表側からステッチをかけます。

※下袖も同様にします。

身頃+袖

「身頃」と「袖」を **中表**に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。





「アームホール」を、1 mm 切り落としながら 5 mm 中のロックをかけます。

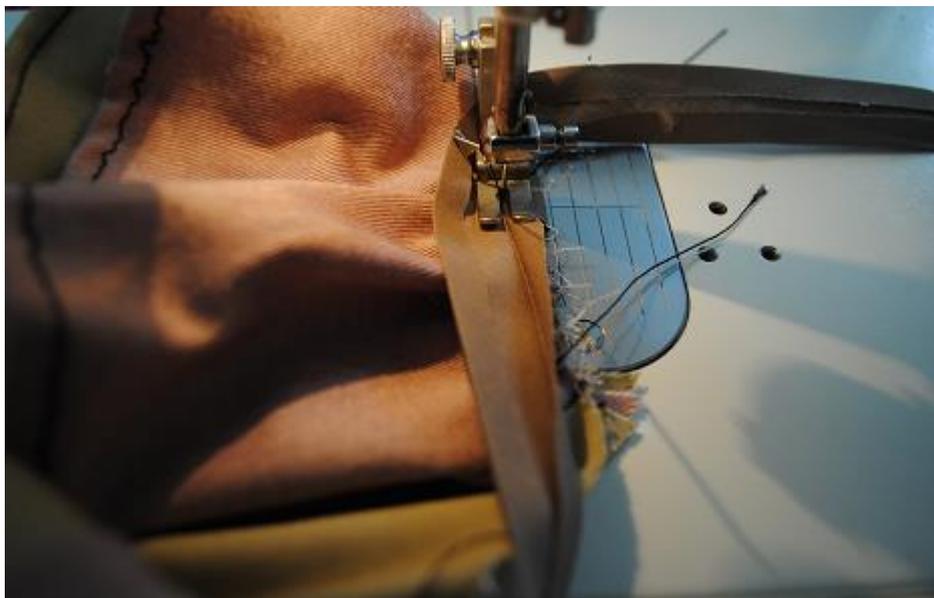
### 後ろ衿ぐり

「S P」から反対側の「S P」まで、後ろ衿ぐりをパイピングします。



前衿ぐり〜クロスリボン

パターン記載のクロスリボン寸法分+縫い代(+2cm 程の余裕分)を取り残して、「パイピングの縫い外し始め位置」〜「前衿ぐり」〜「反対側のパイピングの縫い外し始め位置」まで、直線ミンで縫います。



バイアステープを折り返したところ

「クロスリボンの先」～「前衿ぐり」～「反対側のクロスリボンの先」までステッチをかけます。



「クロスリボン」の長さを測り直し、カットし、先を「後衿ぐり」に縫い留めます。

